

漂流社会から高齢者を 守るための学習集会



<講演>

「権利擁護のための後見制度、 その活用と課題」

今岡 清廣さん (今岡社会福祉士事務所所長)

プロフィール

1969年「旭川荘」に就職、重症児施設29年、身体障害者療護施設7年、知的障害者施設4年の計40年間を現場で働く。

社会福祉士会権利擁護センター「ぱあとなあ岡山」元運営委員長
岡山高齢者・障害者支援ネットワーク理事

- <報告>
- ①「医療・介護総合法と介護現場の現実」
川谷 宗夫さん (岡山県社会保障推進協議会事務局長)
 - ②「岡山市の高齢者・介護の基本計画のその内容」
大畑 誠さん (岡山市保健福祉局高齢者福祉課・課長)

【地図】

岡山市勤労者福祉センター(★印)

岡山市北区春日町5-6

Tel.086-233-8311

☆バス停(市役所前、大学病院前、
大学病院筋)から徒歩約5分です



今日、「漂流社会」「介護難民」「老後破産」などの言葉にめされる高齢者のおかれている現状が社会的な問題になっています。高齢化社会の中で、介護保険制度導入とあわせて開始された「法定成年後見制度」の活用が、より身近な「権利擁護と生活支援」に必要なものとしてとらえられています。

今回の学習集会は、長い間、福祉現場で働き、今は「後見制度」を大いに活用して高齢者や障害者の権利擁護に奮闘されている今岡清廣さんから、経験に基づいた「後見制度の活用と課題」について話していただきます。

また、介護現場で働いている人たちの実態や、岡山市から「高齢者介護の基本計画」などについての報告があります。

参加費¥500

12月6日(土)

午前 10:00~12:30
(受付/午前 9:30~)

岡山市勤労者福祉センター 5階体育集会室